

# 次期リサイクル施設整備・運営事業 審査講評

令和7年12月15日

佐賀県東部環境施設組合

次期リサイクル施設整備及び運営事業者選定委員会

## < 目 次 >

第1節 事業の概要	1
1 事業名称	1
2 本事業の対象となる公共施設等の種類	1
3 本事業対象施設の概要	1
4 事業方式	1
5 事業期間	2
6 事業の対象となる業務範囲	2
第2節 応募者の審査及び落札候補者の選定	3
1 入札の方法	3
2 落札候補者選定の経過	3
3 審査機関	4
4 選定委員会の開催経過	4
5 審査方法	5
第3節 審査結果の概要	5
1 応募者	5
2 入札参加資格審査	5
3 基礎審査	6
4 非価格要素審査	6
5 価格審査	11
6 総合評価点の算出	12
7 落札候補者の選定	12
第4節 総評	13

(用語の定義は、入札説明書に準じるものとする。)



## 第1節 事業の概要

### 1 事業名称

次期リサイクル施設整備・運営事業

### 2 本事業の対象となる公共施設等の種類

一般廃棄物処理施設

### 3 本事業対象施設の概要

本事業対象施設の概要は表 1 のとおりである。

表 1 本事業対象施設の概要

項目	概要	
事業実施場所	佐賀県鳥栖市立石町地内	
マテリアル リサイクル 推進施設	処理対象物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不燃ごみ</li> <li>・可燃性粗大ごみ</li> <li>・不燃性粗大ごみ</li> <li>・剪定枝</li> <li>・ビン類（生きビン、茶色ビン、無色ビン、その他色ビン）</li> <li>・アルミ缶、スチール缶</li> <li>・スプレー缶</li> <li>・ペットボトル</li> <li>・容器包装プラスチック</li> <li>・紙類（段ボール、紙パック、新聞・雑誌・チラシ、その他）</li> <li>・古布</li> <li>・白色トレイ</li> <li>・廃食用油</li> <li>・有害ごみ</li> <li>・発泡スチロール</li> <li>・その他（製品プラスチック、小型家電等）</li> </ul>
	処理方式	破砕・選別、圧縮・梱包、一時保管
	施設規模	破砕・選別処理施設 : 24 t/5h ビン類選別施設 : 4 t/5h 缶類選別・圧縮施設 : 1 t/5h スプレー缶ガス抜き施設 : 0.2 t/5h ペットボトル選別・圧縮梱包施設 : 2 t/5h 容器包装プラスチック選別・圧縮梱包施設 : 1 t/5h 紙類圧縮成型施設 : 2 t/5h 合計 : 34.2 t/5h
その他の 関連施設等	計量棟、ストックヤード、駐車場、構内道路、危険物保管庫、配管、構内サイン、構内照明、外構等	

### 4 事業方式

本事業は、本施設の設計・建設及び運営・維持管理を事業者が一括して行う DBO 方式により実施する。

## 5 事業期間

事業期間は次のとおりである。

### (1) 設計・建設工事期間

事業契約締結日から令和11年3月31日まで

### (2) 運營業務期間

令和11年4月1日から令和36年3月31日まで

## 6 事業の対象となる業務範囲

事業者及び本組合が行う主な業務範囲は次のとおりである。

### (1) 事業者が行う業務

#### ア 本施設の設計・建設に関する業務

(ア) 本施設の設計・建設

(イ) 本組合が提示する調査結果以外に必要となる事前調査

(ウ) 本組合の交付金等申請支援

(エ) 設計・建設に係る許認可申請（本組合への支援含む）

(オ) 近隣対応（建設事業者の実施する業務に起因するもの）

#### イ 本施設の運営に関する業務

(ア) 運転管理業務（破碎残渣、剪定枝以外の可燃ごみの運搬含む）

(イ) 維持管理業務

(ウ) 測定管理業務

(エ) 防災管理業務

(オ) 情報管理業務

(カ) 関連業務

#### ウ その他これらを実施する上で必要な業務

### (2) 本組合が行う業務

#### ア 本施設の設計・建設に関する業務

(ア) 本施設の交付金等申請手続

(イ) 設計・建設に係る許認可申請（本組合による実施が必要なもの）

(ウ) 本施設の設計・建設モニタリング

(エ) 近隣対応（建設事業者の実施する業務に起因するもの以外）

#### イ 本施設の運営に関する業務

(ア) 本施設への処理対象物の搬入

(イ) 搬出物の搬出及び処分（資源化及び破碎残渣、剪定枝の運搬含む）

(ウ) 近隣対応（運営事業者の実施する業務に起因するもの以外）

(エ) 視察・見学対応

(オ) 運営モニタリング

#### ウ その他これらを実施する上で必要な業務

エ

## 第2節 応募者の審査及び落札候補者の選定

### 1 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する総合評価一般競争入札方式により実施した。

### 2 落札候補者選定の経過

落札候補者選定の経過は表2のとおりである。

表2 落札候補者選定の経過

内 容	日 程
① 入札公告及び入札説明書等の公表	令和7年4月2日（水）
② 第1回入札説明書等に関する質問の受付期限 【入札参加資格に関する質問】	令和7年4月16日（水）
③ 第1回入札説明書等に関する質問への回答公表 【入札参加資格に関する質問】	令和7年4月28日（月）
④ 第1回入札説明書等に関する質問の受付期限 【入札参加資格以外に関する質問】	令和7年4月30日（水）
⑤ 第1回入札説明書等に関する質問への回答公表 【入札参加資格以外に関する質問】	令和7年5月14日（水）
⑥ 入札参加資格審査書類受付期限	令和7年5月15日（木）
⑦ 入札参加資格審査結果通知	令和7年5月29日（木）
⑧ 対面的対話用資料受付期限	令和7年6月10日（火）
⑨ 対面的対話	令和7年6月27日（金）
⑩ 第2回入札説明等に関する質問の受付期限	令和7年7月4日（金）
⑪ 第2回入札説明等に関する質問への回答公表	令和7年7月18日（金）
⑫ 事業提案書受付期限	令和7年8月29日（金）
⑬ 事業提案書に関するヒアリング、審査	令和7年11月26日（水）
⑭ 落札候補者の選定	令和7年11月26日（水）

### 3 審査機関

応募者の事業提案の審査を公平に専門的知見に基づいて実施するため、表 3 に示す学識経験者等で構成する事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において審査を行った。

表 3 選定委員会

委員名	所属／役職
大渡 啓介	国立大学法人佐賀大学 理工学部理工学科／教授
松本 亨	公立大学法人北九州市立大学 国際環境工学研究科／教授
八鍬 浩	公益社団法人全国都市清掃会議／技術部長
相良 敏正	一般財団法人日本環境衛生センター西日本支局環境事業部／副参事
松尾 潤	弁護士法人 I T S 法律事務所／弁護士
川崎 浩嗣	鳥栖市／副市長（令和 7 年 4 月 1 日から）
（大久保哲郎）	（鳥栖市／副市長（令和 7 年 3 月 31 日まで））

### 4 選定委員会の開催経過

選定委員会の開催経過は表 4 に示すとおりである。

表 4 選定委員会の開催経過

日 付	議事内容
令和 6 年 11 月 15 日（金）	第 1 回選定委員会 （委員会の運営、本事業の経緯・事業概要、事業者選定スケジュール、要求水準書（案）、見積対応状況の報告）
令和 6 年 12 月 26 日（木）	第 2 回選定委員会 （実施方針（案）、要求水準書（案）、落札者決定基準書（案）、対面的対話の報告）
令和 7 年 2 月 27 日（木）	第 3 回選定委員会 （要求水準書（案）、落札者決定基準書（案）、入札説明書（案）、入札公告以降の詳細スケジュール）
令和 7 年 10 月 9 日（木）	第 4 回選定委員会 （事業提案書の報告・確認、対面的対話の報告、審査方法の確認、審査の進め方、事業提案書に対する事前質問、今後のスケジュール）
令和 7 年 11 月 12 日（水）	第 5 回選定委員会 （基礎審査結果の報告、事業提案書の前質問に対する回答、審査の進め方、今後のスケジュール）
令和 7 年 11 月 26 日（水）	第 6 回選定委員会 （応募者ヒアリング、非価格要素審査、価格審査、総合評価、落札候補者の選定）

## 5 審査方法

審査方法は、落札者決定基準に基づき実施し、入札参加資格審査を実施した後、基礎審査として次の2項目を確認した。

- ・提出書類の確認（必要な書類がそろっていること、入札説明書・様式集及び提出書類の作成要領に示した作成条件を遵守していること、書類間の整合が図られていること）
- ・事業提案書の確認（事業提案書の内容が要求水準を満たしていること）

その後、事業提案内容を評価して得点化する非価格要素審査及び入札価格を得点化する価格審査を実施し、非価格要素審査と価格審査の得点を合計して総合評価点を算出し、落札候補者として選定した。

なお、審査にあたっては、応募者番号（グループ名）のみが記載された審査資料に基づき審査し、応募者の匿名性を確保した。

## 第3節 審査結果の概要

### 1 応募者

対象となる応募者は表5に示すとおり、1グループであった。

表5 応募者一覧

項目	もみじグループ
代表企業	極東開発工業株式会社

### 2 入札参加資格審査

入札説明書に示す入札参加資格を応募者が満たしていることを表6に示すとおり確認した。なお、入札参加資格審査は、事務局において実施した。

表6 入札参加資格審査結果

項目		もみじグループ
応募者の構成等		合格
応募者等の 入札参加資格要件	共通の参加資格要件	合格
	本施設のプラントの設計・建設を行う者の要件	合格
	本施設の建築物等の設計・建設を行う者の要件	合格
	本施設の運営業務を行う者の要件	合格
結果		合格

### 3 基礎審査

応募者から提出された事業提案書に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを表 7 に示すとおり確認した。なお、基礎審査は、事務局において実施した。

表 7 基礎審査結果

項目	確認内容	もみじグループ
提出書類の確認	①必要な書類がそろっているか。 ②入札説明書、様式集及び提出書類の作成要領に示した作成条件を遵守しているか。 ③書類間の整合が図られているか。	合格
事業提案書の内容確認	①事業提案書の内容が要求水準を満たしているか。	合格
結果		合格

### 4 非価格要素審査

#### (1) 審査項目及び配点、審査基準及び得点化方法

非価格要素審査は、落札者決定基準に基づき、表 8 に示す審査項目及び配点とし、表 9 に示す評価基準及び得点化方法に従い、選定委員会において応募者ヒアリングを実施したうえで提案内容を得点化した。(配点 60 点)

各審査項目の得点は、各委員が個別に行う採点の平均値(小数点以下第 3 位を四捨五入して小数点以下第 2 位まで算出)とし、各審査項目の得点を合計して非価格要素点を算出した。

表 8 非価格要素の審査項目及び配点

審査項目		No.	配点
事項	項目		
1 設計・建設及び運営・維持管理に関する事項			45
	屋外配置計画	1	7
	屋内配置計画	2	7
	作業環境	3	5
	安定稼働	4	5
	爆発対策・火災対策	5	5
	公害防止対策	6	4
	設計・建設段階の経済性・効率性	7	4
	運営・維持管理段階の経済性・効率性	8	4
	脱炭素社会への貢献	9	2
	周辺環境との調和	10	2
2 事業計画に関する事項			15
	地域経済への貢献	11	5
	施工計画	12	4
	組織体制・人員配置計画	13	3
	リスク管理・セルフモニタリング	14	3
非価格要素点の合計			60

表 9 評価基準及び得点化方法

評価	評価基準	得点化方法
A	特に優れており、提案内容に非常に大きな期待ができる	配点×1.00
B	優れており、提案内容に大きな期待ができる。	配点×0.75
C	提案内容に一定の期待ができる。	配点×0.50
D	提案内容に期待できるものが少ない。	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である。	配点×0.00

(2) 審査結果

非価格要素審査結果は、表 10 のとおりである。

表 10 非価格要素審査結果（非価格要素点）

審査項目		No.	配点	もみじ グループ
事項	項目			
1 設計・建設及び運営・維持管理に関する事項			45	34.13
	屋外配置計画	1	7	5.25
	屋内配置計画	2	7	5.54
	作業環境	3	5	3.54
	安定稼働	4	5	3.96
	爆発対策・火災対策	5	5	4.17
	公害防止対策	6	4	2.50
	設計・建設段階の経済性・効率性	7	4	3.33
	運営・維持管理段階の経済性・効率性	8	4	3.00
	脱炭素社会への貢献	9	2	1.42
	周辺環境との調和	10	2	1.42
2 事業計画に関する事項			15	10.38
	地域経済への貢献	11	5	4.17
	施工計画	12	4	2.33
	組織体制・人員配置計画	13	3	1.88
	リスク管理・セルフモニタリング	14	3	2.00
非価格要素点の合計			60	44.51

(3) 非価格要素審査の講評

非価格要素の各審査項目についての講評は表 11 のとおりである。

表 11 非価格要素審査の講評

審査項目		No.	応募者の提案内容に対する講評 (もみじグループ)
事項	項目		
1 設計・建設及び運営・維持管理に関する事項			
	屋外配置計画	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般持込車両と収集車両等の動線が明確に分離され、安全で分かりやすい計画となっている点を評価した。</li> <li>一般持込車両の渋滞対策として、退避スペースの設置や繁忙期の迂回路が計画されるなど工夫されている。</li> </ul>
	屋内配置計画	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場棟内における一般持込車両と収集車両の動線及び荷下ろしエリアが分離され、安全かつ効率的に荷下ろしできる点を評価した。</li> <li>既存施設を踏まえたライン配置が計画されており、現施設の作業員がスムーズに新施設へ移行できるよう配慮されている。</li> </ul>
	作業環境	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>手選別室を含め、適所で熱中症対策が計画されている点を評価した。</li> <li>作業員の安全確保、衛生対策にも配慮されている。</li> </ul>
	安定稼働	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各設備の摩耗対策や耐久性の向上について考慮されるなど、これまでの実績及び経験に基づいた提案となっている点を評価した。</li> <li>定期的に維持管理補修計画を見直すなど、現実的で具体的な計画となっている。</li> </ul>
	爆発対策・火災対策	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>不燃・粗大ごみ処理ラインにおける爆発・火災対策として、熱・炎・可燃ガス検知器やそれに連動した自動消火設備が随所に計画されていることに加え、リチウムイオン電池を検知する設備を導入し、火災発生リスクを低減する対策が図られている点を評価した。</li> </ul>
	公害防止対策	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設稼働時の騒音、振動、悪臭、粉じん等の公害防止基準を遵守する対策がこれまでの実績及び経験に基づいた提案となっている点を評価した。</li> </ul>
	設計・建設段階の経済性・効率性	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>低価格かつ短工期を達成する建築工法を採用するなど、建設費全体の費用削減を考慮した計画となっている点を評価した。</li> </ul>

審査項目		No.	応募者の提案内容に対する講評 (もみじグループ)
事項	項目		
	運営・維持管理段階の経済性・効率性	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント機器について、摩耗や損傷を考慮したうえで、経済性や効率性に配慮した部品交換が計画されている点を評価した。</li> <li>・既存施設の作業員を雇用し、業務の継続性・効率性を考慮した運営体制となっている。</li> </ul>
	脱炭素社会への貢献	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーに配慮したプラント機器の選定や電力削減策がこれまでの実績及び経験に基づいた提案となっている点を評価した。</li> </ul>
	周辺環境との調和	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観・景観・色彩に配慮されたシンプルなデザインとなっており、来場者への圧迫感も軽減されている点を評価した。</li> </ul>
2 事業計画に関する事項			
	地域経済への貢献	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・建設工事及び運営・維持管理業務において、それぞれ積極的に地元企業の参画を見込んだ実効性の高い提案となっている点を評価した。</li> </ul>
	施工計画	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の施工管理体制及び安全対策について具体的で計画性のある提案であった。</li> </ul>
	組織体制・人員配置計画	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運營業務期間の組織体制及び運営管理体制について、各々の役割分担が明確であり、人員配置の工夫や効率性を考慮した妥当性のある提案であった。</li> </ul>
	リスク管理・セルフモニタリング	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運營業務におけるリスク管理について、段階的なセルフモニタリングを実施する計画となっているなど、多重リスク管理が計画されている点を評価した。</li> </ul>

## 5 価格審査

価格審査は、非価格要素審査終了後、落札者決定基準に基づき、以下の算出方法により算出した。(配点 40 点)

予定価格(入札書比較価格)は 15,039,000,000 円(消費税及び地方消費税を含まない。)であり、応募者が 1 者であったため、定量化限度額の設定は行わなかった。

価格審査結果は、表 12 のとおりである。

①【最低入札価格>定量化限度額】の場合における得点化方法

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

②【最低入札価格≤定量化限度額】の場合における得点化方法

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{定量化限度額} / \text{入札価格})$$

※価格点は小数点以下第 3 位を四捨五入して小数点以下第 2 位まで算出する。

※最低入札価格：応募者から提出された入札価格のうち最低の入札価格

※入札価格：当該応募者から提出された入札価格

※入札価格が定量化限度額以下の応募者の価格点は 40 点満点

表 12 価格審査結果(価格点)

項目		配点	もみじグループ
入札価格(税抜)		—	14,870,000,000 円
内訳	設計・建設工事費	—	5,430,000,000 円
	運營業務委託費	—	9,440,000,000 円
予定価格(入札書比較価格)に対する割合		—	98.9%
価格点		40	40 点

## 6 総合評価点の算出

「4 非価格要素審査」及び「5 価格審査」の結果を合計し、総合評価点を算出した。  
総合評価点は、表 13 のとおりである。

表 13 総合評価点

項目	配点	もみじグループ
非価格要素点	60	44.51 点
価格点	40	40 点
総合評価点	100	84.51 点

## 7 落札候補者の選定

選定委員会は上記の結果に基づき、もみじグループを落札候補者として選定した。  
落札候補者の企業構成は、表 14 のとおりである。

表 14 落札候補者の企業構成

項目	もみじグループ
代表企業	・極東開発工業株式会社
構成員	・極東開発工業株式会社 ・株式会社栗山建設 ・極東サービスエンジニアリング株式会社
協力企業	・西部広域環境事業協同組合

#### 第4節 総評

本事業への事業提案書の提出は結果的に1グループとなったが、その提案内容は、本事業の事業目的を理解し要求水準を上回るものであるとともに、技術・運営面において応募者の創意工夫やノウハウが盛り込まれた高い水準での提案であった。

選定委員会は、厳正なる審査の結果、「もみじグループ（代表企業：極東開発工業株式会社）」を本事業の落札候補者として選定した。

落札候補者は、全体的に提案内容が具体的であり、本施設整備における基本方針に沿った提案であった。

今後、組合と「もみじグループ」が良好なパートナーシップを構築し、公共事業の一環として事業目的の達成に向けて本事業を実施することを期待する。

そのため、選定委員会は、公共サービスの更なる向上に向けて「もみじグループ」に対し、事業提案書の提案内容を確実に実施するうえで、次の点に留意することを望む。あわせて、組合がこれらを配慮事項として改善に反映させて「もみじグループ」に明確に伝えることを望むとともに、双方が誠実な協議を重ねることにより、本事業がより良いものになっていくことを期待する。

- ①事業期間にわたって、要求水準事項及び提案事項を確実に履行すること。
- ②周辺住民等との信頼構築に向けて、施設の安定稼働を確保するとともに、十分な環境保全・公害防止対策を行うこと。
- ③より良い施設整備・運営の実現を目指し、実施設計協議にあたっては、既存施設の現状等を踏まえ、組合と十分に協議を行い、要望事項等については柔軟に対応すること。
- ④火災事故を確実に防ぐため、初期消火の対策について十分に検討すること。
- ⑤屋外動線計画については、特に一般持込み車両及び来場者車両の動線に配慮すること。また、長期の運営期間となることを踏まえ、将来的な人員確保の不確実性の観点から、車両制御のシステム化による省力化・省人化に努めること。
- ⑥建設工期を遵守すること。また、建設期間中における現場の安全確保を図るとともに、工事関係車両について、周辺住民等の安全確保に最大限努めること。
- ⑦事業期間を通じて、地元発注及び地元雇用についての提案の実現及び一層の推進に努めること。
- ⑧長期の運営期間となることを踏まえ、様々な社会情勢の変化や技術革新に柔軟に対応した運営を心掛けること。
- ⑨熟練作業員の継続的な確保に向け、事業者内での研修・教育に努めること。

令和7年12月

佐賀県東部環境施設組合次期リサイクル施設整備及び運営事業者選定委員会

委員長 大渡 啓介